

図書館・情報メディアセンター



-  ■ 中央図書館・情報メディアセンター
教育用端末室 10室
-  ■ 鶴川図書館・情報メディアセンター
教育用端末室 2室
-  ■ 多摩図書館・情報メディアセンター
教育用端末室 2室

蔵書数 図書:909,734冊 教育用端末室 全14室
雑誌:9,397種類

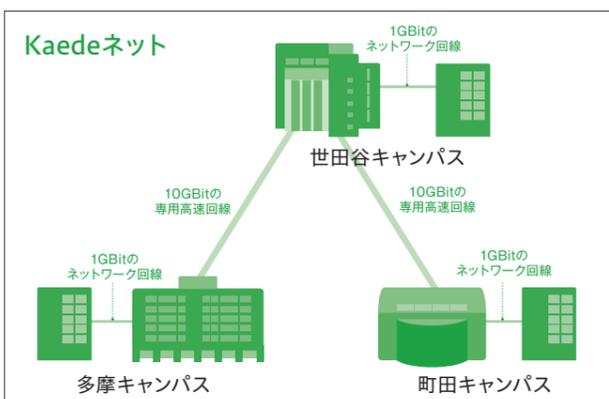
学術情報サービスの高度化と学修サポートの強化を目指す知的拠点

国士館大学図書館・情報メディアセンターは、中央図書館・情報メディアセンター、鶴川図書館・情報メディアセンターおよび多摩図書館・情報メディアセンターで構成され、学術情報の高度化と学修支援を行う知的拠点です。図書館・情報メディアセンターでは所蔵している図書・雑誌等に加えデータベースやe-ジャーナルに代表される電子情報にアクセスできる環境を設けることで統合学修を推進しています。また、図書館の開館時間拡大、教育用端末室のオープン利用および情報端末機の24時間運用など利便性向上を図ると共に地域住民の生涯学習や知的好奇心を満たすため図書館を開放しています。

教育用情報端末室には800台以上の端末機を設置し、情報リテラシーや情報処理等の教育環境を整備しています。なお、端末機の半数は仮想デスクトップ配信システム(シンクライアントシステム)を導入しソフトウェア資源の効率運用を図っています。また、本学の情報基盤ネットワークである「Kaede-net」を構築・運用し教育研究を強力に支援するほか無線LANシステム、各システム間の認証を統合するシステムを導入し利便性の向上を図っています。

本学の情報資源である書誌情報および論文・講義資料等を搭載した学術リポジトリ等の各システムをクラウド環境に構築することでモバイル機器への対応並びに災害時における教育研究支援の継続性を担保しています。

そのほか学修支援環境として、閲覧席、グループ学習室、視聴覚ブース並びにリフレッシュルーム等の環境を整備し、情報機材としてスキャナー、大型カラープリンターおよび画像編集機の設置と支援要員を配置することで知的生産物の生産性向上を図っています。



国際交流センター



学術交流、海外派遣、研修受け入れの拠点

国際交流センターは、設立以来、国際社会に対する教育研究活動を通じた学術交流や、学生の海外派遣・研修、外国人留学生の受け入れなどを積極的に行っています。現在、本学は約500人の外国人留学生が在籍しています。本センターは世界各国の海外協定校(研修校含む)47大学2研究機関との学術交流や、海外教育・研究機関との交流窓口となり、本学学生の海外留学に際しても、安全かつ安心な海外生活を送ることができるよう、全面的に支援を行っています。また、外国人留学生に対して、在留、住宅や医療、奨学金等についての情報提供や相談業務、諸手続きのサポートを行い、安心して勉強に専念できるよう支援しています。



生涯学習センター



学生のスキルアップと市民向けの講座を実施

本学の研究成果や教育機能を広く社会に提供し、学生はもとより一般市民の教育・芸術・学術・文化の発展に貢献することを目的に誕生しました。世田谷・町田・多摩の各キャンパスに事務室を設置してさまざまな事業を展開しています。学生の就職を視野に入れたスキルアップのための「資格講座」や、幼児からシニアまで幅広い層を対象にした地域貢献を目的とする「公開講座」を開講。さらに、本学を含めた世田谷区内の5大学と世田谷区教育委員会との協働によるeラーニング方式の生涯学習講座「せたがやeカレッジ」も展開しています。

事業展開

■ 資格講座

各専門学校と提携し、学生のスキルアップと就職のための資格講座を開講しています。資格講座は簿記、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)、行政書士、TOEIC®など多岐にわたり展開しています。毎年それぞれの講座から一定の合格者を輩出しています。

■ 公開講座

幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方が参加できる講座を開講しています。講座は4月から始まる春期、9月から始まる秋期、1月から始まる冬期の3期に分かれ、教養・語学・歴史・パソコン・芸術・健康・スポーツ・武道を開講しています。

■ せたがやeカレッジ

本学を含めた世田谷区内の5大学と世田谷区教育委員会が協働して発信する、eラーニング方式の生涯学習サービスです。「いつでも・どこでも・楽しく学べる」生涯学習の実現に取り組んでいます。